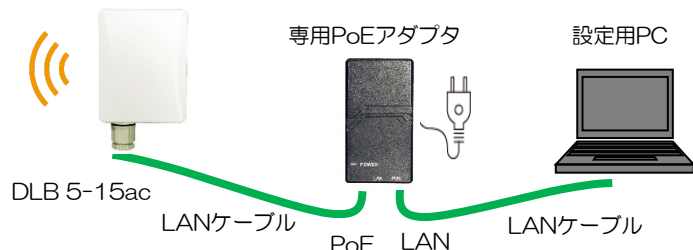


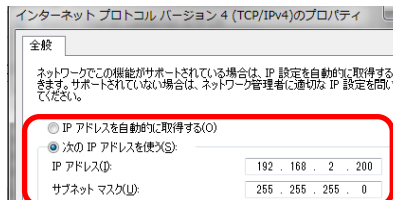
## ① 機器接続



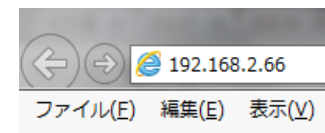
※専用PoEアダプタにリピータ機能はありませんので、ネットワーク機器-DLB 5-15ac間のLANケーブル長は最大100mとなります。

## ② 基本設定 (PC設定)

パソコンをDLB5-15acのサブネットにセットしてください。  
(例) 192.168.2.200



WEBブラウザを開いてIPアドレスを指定してください。  
初期設定 (192.168.2.66/24)



## ③ 基本設定 (親局設定)

一方をAccess Point(親局)、他方をStation(子局)として設定することにより1対1ブリッジ接続ができます。

初期パスワードを入力し、Loginボタンを押してください。  
初期ID、パスワード  
Username : admin  
Password : admin01

LOGIN

Username

Password

English

Login

タブ内の タブで タブで Operating mode から Access point (auto WDS) を選択してください。

Enable radio:

Operating mode:

↑ Access Point (auto WDS) を選択

タブ内の タブの IPv4 configuration で IP address に 192.168.2.66 と入力した後、Save changes を押して下さい。

IP method:

IP address:

Subnet mask:

Default gateway:

必要に応じて、SSIDの変更とパスワードの設定を行います。

タブ内の タブで 右下の をクリックし下記画面の変更を行い、DoneとSave changesを押してください。

SSID:  ← SSIDの変更

Security settings

Security:  ← 暗号化の設定

Passphrase:  ← パスワードの設定

使用するチャンネルを限定したい場合は、タブ内の タブで  をクリックし

下記画面のように、使用しないチャンネルのチェックを外し、SelectとSave changesを押してください。

<input checked="" type="checkbox"/>	Channel	TX limit, dBm	EIRP limit, dBm	DFS/ATPC required
<input type="checkbox"/>	100 (5500 MHz)	15	30	Yes
<input checked="" type="checkbox"/>	104 (5520 MHz)	15	30	Yes
<input checked="" type="checkbox"/>	108 (5540 MHz)	15	30	Yes
<input type="checkbox"/>	112 (5560 MHz)	15	30	Yes

## ④基本設定 (子局設定)

初期パスワードを入力し、  
Loginボタンを押してください。  
初期ID、パスワード  
Username : admin  
Password : admin01

LOGIN

Username

Password

English

タブ内の タブで タブで Operating mode から  
Station (WDS/iPoll3) を選択してください。

Enable radio:

Operating mode: Station (WDS/iPoll 3)

Station (WDS/iPoll3) を選択

タブ内の タブの IPv4 configuration でIP addressに  
192.168.2.67と入力した後、Save changesを押して下さい。

IP method: Static

IP address: 192.168.2.67

Subnet mask: 255.255.255.0

Default gateway: 192.168.2.1

親機側の設定に応じて、SSIDの変更とパスワードの設定を行います。

タブ内の タブで 右下の をクリックし下記画面の変更を行い、  
DoneとSave changesを押してください。

SSID: LigoDLB ← SSIDの変更

Security settings

Security: WPA/WPA2 Personal ← 暗号化の設定

Passphrase: \*\*\*\*\* ← パスワードの設定

親局の電源を投入すると、  
数分後リンクLEDが点灯し、ブ  
リッジ接続が完了します。



## ⑤映像伝送等UDPプロトコルを利用する際の追加推奨設定

APとStationで タブ内の タブで以下の設定後、  
右上のSave changesを押します。

Advanced radio settings をクリックして、

AP設定

Channel: Auto / 20 MHz ← 20MHzを選択

Radio mode: MIMO 2x2

BA window size, frames:  ← 8に設定

Station設定

Channel width, MHz: 20 ← 20MHzを選択

Max data rate, Mbps: 39 (QPSK 3/4) ← ビットレートの  
ピーク値の1.3倍  
以上の最小値

AMSDU:

Short GI:  ← チェックを外す

8に設定

## ⑥複数の子機を接続する構成の場合の推奨設定

独自プロトコルのiPoll 3を使用することにより、各子機との通信が比較的均等なデータ通信速度で行われるようになります。iPoll 3の設定は親機側のみで行います。各子機に監視カメラなど一定のデータレートの機器が接続された場合には、iPoll3の使用を推奨します。



タブ内の タブで Operating mode から

Access point (iPoll 3) を選択してください。

Enable radio:

Operating mode:

Access point (iPoll 3)



Access Point (iPoll 3) を選択

注) iPoll 3はWiFiとは違った独自プロトコルであるため、DLB5-15ac以外の製品と接続することはできません。

## ⑦他の無線LANからの干渉を低減する推奨設定

他の無線LANの干渉を受け、期待した通信速度が得られない場合は、前記「⑥映像伝送等UDPプロトコルを利用する際の追加推奨設定」における、Short GIを外すことと、BA window sizeを8に設定することで改善が期待できます。

また、前記「⑥複数の子機を接続する構成の場合の推奨設定」のiPoll 3の設定でも干渉低減を期待できる場合があります。

## ⑧自動的に再起動をかけるPing Watchdogの設定

Ping Watchdogをイネールにすることで、ノイズ等の影響でDLB5-15acの通信が停止した場合、自動的に再起動がかかるようになります。

手で再起動がかけにくい環境に設置する場合は、この設定を推奨します。

この設定は親機と子機の両方でおこないます。



タブ内の タブの Ping Watchdog を選択します。

☏ Ping watchdog

Enable ping watchdog:

イネールに設定

Ping interval, min: 1

← Pingを送信する時間間隔の設定(分単位)

Host/IP address: 192.168.2.66



Ping fail count to reboot: 5

← 再起動がかかるまでのPingの回数

Test host/IP address:

← 相手側のIPアドレスを設定

Save Changesを押すことでPing Watchdogが設定されます。この設定例の場合は、1分間隔で相手側のIPアドレス192.168.2.66へPingが送信され、5回連続で、Pingの応答がない場合は再起動がかかります。